



森 和洋 さん (23)

まく ひと しごと  
枕崎 × 人 × 仕事 No.38

枕崎お魚センター / 松之尾町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。今月は、枕崎お魚センターで料理人として働く男性取材しました。



平成5年のオープン以来、本市の観光拠点として中心的な役割を担ってきた枕崎お魚センター。今年3月にリニューアルオープンし、フードホール「潮風テラス」内にある枕崎みなと食堂の新鮮な魚と出汁の効いた料理が人気を博しています。今回は、そんな枕崎お魚センターで料理長補佐として働く森和洋さん取材しました。

本市出身の森さんは、保育園児のころ、イベントで自分たちが作ったカレーを、食べた人たちが喜んでくれたことをきっかけに、5歳にして料理人の夢を持ったといいます。桜山小・中学校を卒業後、料理を学ぶため鹿児島城西高校の調理科へ進学。食に関する幅広い知識や技術を学びました。

高校卒業後は、指宿の老舗旅館に就職。念願の料理人へ向

け、順調なスタートを切ったかに思いましたが、直後にコロナ禍が業界を襲います。外出自粛による宿泊客の激減に仕事がない日が続ぎ、退職。実家へ戻り自分を見つめなおしたところ、やはり料理関係の仕事がしたいとの思いからお魚センターへの就職を決定します。

最初の配属先は、当時1階にあつた麵処みなど食堂でした。出汁の効いたうどん、そばに加えて刺身等も提供するため、朝は近海魚市場の競りにも参加して鮮魚の仕入れを経験しました。しばらくして2階のレストランに異動になると、リニューアル案が具体化し、怒涛の日々が始まります。新しい食堂のメニューや提供方法など、少ない経験の中で悩みながらも迎えたリニューアル。土日だけでなく、平日もたくさんのお客さんがお魚センターを訪れるようになります。料理の評判も上々だといえます。さらに、全国放送の朝のテレビ番組に出演すると、その元気がいっぱいなキャラクターから「おにぎり君」の愛称で親しまれ、わざわざ会いに来てくれるお客さんもいるそう。少しでも枕崎を訪れるきっかけになればと笑顔で対応します。新たな取り組みとして、新しいメニューの開発やキャラクターを活かした「おにぎり君印」のテイクアウト商品・写真の開発も進められています。



▲市民運動会の運営を楽しむ今隊員と赤池隊員

今月の担当は  
いま  
今 隊員 です!

こんにちは！地域おこし協力隊の今です。12月に入り、今年も残すところ1カ月を切りました。師走ということで、新年良いスタートができるようまずは12月を走り抜けましょう！



地域おこし協力隊  
活動レポート

協力隊  
が行く!

5年ぶりの市民運動会  
10月に第55回枕崎市民運動会が開催されました。私が枕崎へ移住して、初めての市民運動会でした。市民運動会は、さまざまな競技を通じて交流を深め、地域の団結や健康促進を図る場となつていてと考えています。そして、各公民館や企業、学校などが集まり、世代を超えた参加者がいることが特徴的で、普段は顔を合わせることが少ない住民同士でも一つの目標に向かって力を合わせることで、枕崎全体に一体感が生まれるキックケにも繋がると思っています。

枕崎では5年ぶりの開催だったことや、私自身今まで生きてきた中で市民運動会に参加したことが一度もないということもあり、市民運動会というものがあるのかなものか全く想像ができていない中で当日を迎えました。スポーツ振興係に所属していることや、スポーツ分野での地域おこし協力隊員ということもあり、市民運動会の開催にあたって運営側に入らせていただいていたので楽しみな気持ち半分、不安な気持ち半分でした。しかし、実際に運動会が始まると、公民館や年齢など関係なく素敵な笑顔が溢れる空間になっていたのので不安もすぐに飛んで

いきました！そして、当日までは「なんやこの競技は!? どうやってするんや?」と思つていった種目が多かったのですが、個人的に一番気になり、実際に見ておもしろいと感じたのは「自転車輪回しリレー」でした。特にスポーツ協会、竹中和幸会長の熟練の技に感動しました。また、昼食時間ではあったのですが「枕崎音頭」と「東京ブリウギ」をたくさんの方と一緒に踊ることができ、本当に楽しく幸せな時間でした！

このようにスポーツを通じて、枕崎市民が交流し、市民運動会をキックケに日常的な運動をしようという気持ちが生えたと、日頃からの心身のリフレッシュにつながり、健康維持にも直結してくるかと思えます。

そして最後に、枕崎市への移住者として個人的に感じたのは、枕崎の特産品であるカツオを活かした種目があればいいなということ。地域特有のユニークな競技があればそれもまた盛り上がる要素になるのではないかと感じた人生で初めての市民運動会でした。

**ART ORIGATION 2024**

公募形式で選ばれた、県内外で多種多様な視点で日々創作活動に励む本県ゆかりのアーティストの作品展が南溟館にて開催中です。

- 会期 ~12月24日(火)  
※月曜日休館(祝日の場合は翌日休館)
- 観覧料 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料
- 出品アーティスト  
きはらごう、米倉秀紀、池翔太、森島里香、櫻井彰真、小野あさみ

**南溟館年末年始休館**

南溟館は、ART ORIGATION 2024の搬出作業および年末年始のため、下記の期間休館します。

- 期間 12月25日(水)~1月4日(土)

南溟館  
開 9:00 ~ 17:00  
※入館は16:30まで  
休 毎週月曜日  
※月曜日が祝祭日の場合は翌日  
問 スポーツ・文化振興課  
TEL72-9998

**第4回枕崎国際芸術賞展作品募集**

募集 300万円

平成28年度から3年に1回開催している現代アートの国際コンクール「枕崎国際芸術賞展」の第4回展の開催が決定しました。下記の期間にて作品を募集します。詳細は、枕崎国際芸術賞展特設ホームページをご確認ください。

▶特設ホームページ

- 作品募集期間 令和7年1月8日(水)~3月25日(火)
- 展覧会 令和7年7月21日(月・祝)~9月15日(月・祝)会期中無休

**市長 コラム vol.68**

この一年

令和6年も残り1カ月となりました。今年も元日に能登半島地震が発生、翌日には羽田空港で航空機事故が発生するなど、不安の中で一年をスタートすることとなりました。その後も、能登地域では秋に豪雨災害が発生するなど大変厳しい状況が続いています。また、8月には日向灘沖を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」が発表されました。今年も、本市においても8月末、台風10号の襲来に伴う猛烈な風により、住宅、漁業・農業・商工業関係の施設、市道、農道などの道路網、学校施設などのあらゆる施設が被害を受けました。近年の異常気象等による自然災害の発生はいつ・どこで発生してもおかしくない状況であり、防災・減災、国土強靱化に向けた取り組みを加速させなければなりません。本市としても災害への備えをハード、ソフトの両面から加速させていかなければならないと再認識する年となりました。

そのような中、本市では3月に枕崎お魚センターのリニューアルオープン、夏には5年ぶりに「きばらん海」が2日間にわたり開催され、まちの賑わいが戻ってきました。春のスポーツ合宿に始まり、火之神公園のキャンプやプール、南溟館での「書家・金澤翔子展」などの企画展に、市外からも多くの方が枕崎を訪れていただきました。

また、夏の高校野球では枕崎高校が県ベスト4に進出、枕崎野球スポーツ少年団の全国大会出場、桜山野球スポーツ少年団(4年生以下)の九州大会出場をはじめ、中学生の陸上1000メートルハードルでの活躍や小学生の空手道での活躍など市内の若いアスリートが頑張った年でもありました。

来年が良い一年となりますよう、あとひと月、頑張ってください。